

六甲高山植物園 園内を彩る春の妖精 カタクリ まもなく見頃を迎えます!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)が、六甲山上で運営を行っている「六甲高山植物園」では、春の妖精「カタクリ」がまもなく見頃を迎えます。

快晴の天候に恵まれ、やわらかな陽だまりが差し込む中、土の中で眠っていたカタクリが順次開花し始めました。晴天時のみ開花し、園内に点在し群生しています。淡い紫色の花びらを大きくそりかえし、うつむきかげんに咲く可憐な姿は、まさに妖精のようです。



◆カタクリ(ユリ科)

北海道～九州の山林原野に広く群生する多年草です。6枚の花被片を大きくそりかえし、うつむきかげんに咲くやさしい早春の花(スプリング・エフェメラル)です。高さ10～20cmの花茎に1輪の花を咲かせますが、種から開花するまでは7、8年ほど要します。昔は片栗粉の原料として用られ、この根茎より製した質の良い澱粉が使用されていましたが、現在は、ジャガイモの澱粉が代用されています。

晴天時のみ開花し、今月末～4月上旬まで見ごろとなる見込みです。



◆リリースに関するお問い合わせ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247 / FAX:078-891-0137

〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生～)620円 / 小人310円(4歳～小学生)

【開園時間】10時～17時(16時30分受付終了)